



より良いモバイル通信サービスを求めて

総合通信基盤局電気通信事業部
料金サービス課接続統制度第二係長

藤井 仁花 FUJII Hitoka

令和 2年 4月 総務省採用
同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課
併任 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課
安全・信頼性対策室

令和 4年 7月 現職

学生時代に見たニュース

私が情報通信系の修士1年生だった頃、菅官房長官(当時)の「日本の携帯電話料金は4割程度下げる余地がある」旨の発言が世間の注目を集め、この発言を受けて、総務省は携帯電話市場の競争を促進するために様々な施策を打ち出しました。大手携帯キャリアと総務省が激しくぶつかり合い、情報通信業界のルールがめまぐるしく変わっていく様子を目の当たりにし、「こんな面白い世界があるのか」と衝撃を受けました。私が技術者としてではなく行政官として情報通信業界に関わることを志したのはこの時です。

ニュースの“向こう側”

入省4年目の私は、奇しくも、かつてテレビ画面越しに憧れたモバイル通信政策に携わっています。より安くより質の高い通信サービスは、事業者同士の活発な競争のなかで生まれます。しかし、現在のモバイル通信市場では、大手携帯キャリアが圧倒的なシェアを誇り、そうでない通信事業者は、大手携帯キャリアから設備を借りなければ携帯電話サービスが提供できない状況です。彼らは「貸す側」

と「借りる側」であり、競争の前提条件が必ずしも同じではありません。私の仕事は、彼らが公正に競争できる環境を整え、事業者同士の競争を促すことで、国民の皆様がより安くより質の高い通信サービスを利用できる未来を実現することです。モバイル通信政策の面白いところは、その変化の早さだと思います。大学院時代にニュースで見聞きした頃からわずか数年の間にも、市場の状況は大きく変化しており、市場の抱える課題も当時とは異なっています。市場を取り巻く環境が日々変化する中で、どのようにルール形成をしていくか。関係者の皆様のご意見や、上司や先輩方のご指導を賜りながら、この難しい問に答えを出すべく、やりがいをもって仕事に取り組んでいます。

理系“だからこそ”行政官になってみませんか

近年、情報通信技術の発展に伴い、民間企業等における優秀な技術者の需要は日に日に高まっています。それと同時に、新しい情報通信技術の導入の際にルールを作る行政官にも、技術的な素養や理解力を持った優秀な人材が求められています。理系“だからこそ”行政官になってみたい、という志のある皆様にお会いできる日を楽しみにしています。



定時後、課内の同期と映画観賞会



前体制でお世話になった上司・部下の方と



外務省在インド日本国大使館
二等書記官

原 幸司 HARA Koji

平成 26年 4月 総務省採用
同 情報流通行政局放送技術課
平成 28年 7月 外務省総合外交政策局安全保障政策課宇宙室
平成 30年 8月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室国際係長
併任 総合通信基盤局電波部移動通信課高度道路交通システム推進室

令和 2年 8月 内閣官房
令和 5年 6月 現職

日印連携の最前線。
技術力と情熱で日本と他国をつなぐ未来を築きます。

私は、現在、在インド日本国大使館の経済班で書記官を務めており、インドに進出した日本企業の支援や、情報通信、AI分野における日印協力の進展のため、日々の業務を行っています。特に技術の面で急速に発展するインドで、今まで感じたことのない熱気や活気を肌で感じています。昨年、インドはG20の開催国となり、関連会合には関係省庁大臣級が、サミットでは各国首脳が集まりました。G20での成果はもちろんのこと、その後も日本からの要人訪問が相次いでおり、日印関係が一層強固になっていると感じています。大使館では、そんな日印協力の最前線で日々新しい刺激を受けながら仕事をしています。大使館などの他省庁等に出向した際、総務省職員は特に情報通信全般につい

の技術的な知識が求められます。しかもこの分野は技術の進展が非常に早いため日々勉強してキャッチアップしていくことが求められます。なかなか大変ではありますが、仕事にも生かせ、自分の武器にもなるので、日々取り組んでいます。大使館では、幅広い分野での経験が求められます。これまでの経験を生かしつつ、足りない部分は勉強するなどして日々の業務に対応しています。

現在私は日印協力の最前線で働くとともに、充実した日々を過ごすことができています。海外で活躍したい方にとって、情報通信の分野は非常に刺激のあるやりがいのあるものだと思います。是非、総務省と一緒に働いてみませんか。



英国留学(ウォーリック大学)

広瀬 恵太 HIROSE Keita

平成 29年 4月 総務省採用
同 総合通信基盤局電波部移動通信課新世代移動通信システム推進室
平成 31年 4月 外務省総合外交政策局安全保障政策課宇宙・サイバー政策室
令和 元年10月 同 総合外交政策局安全保障政策課新安全保障課題政策室
令和 2年 8月 総務省サイバーセキュリティ統括官付参事官付主査
令和 4年 7月 同 情報流通行政局衛星・地域放送課地域放送推進室技術係長
令和 5年 7月 現職

イギリスから日本を見つめ直す

私は現在、イギリスで安全保障について幅広く学んでいます。私が初めて安全保障という分野に足を踏み入れたのは、5G導入に関するサプライチェーンリスクへの対応を巡り、米中を中心に様々な国々が目まぐるしく動いている時期でした。それまで携わることのなかったこの新たな分野は、強いやりがいとともに、自身の力不足を感じたことから、体系的に学びなおすため留学を志すようになりました。総務省所管の情報通信分野は社会経済活動を支える基盤です。国民生活をより便利に豊かにする一方で、我々の生活に深く組み込まれた情報通信インフラは同時に、サイバー攻撃の脅威に晒されています。昨今は、国家の関与が疑われる事例も多く発生しており、サイバー空間を形

成する情報通信ネットワークの安全・信頼性の確保はこれまで以上に重要になります。また、サプライチェーンの複雑化や民主主義の根幹を脅かす偽情報の増加など、サイバー空間を取り巻く課題は増える一方です。留学は、このような安全保障環境の変化に対して、どのように国・総務省として関与していくべきなのか、改めて大局的に広い視野から見つめ直す機会を与えてくれます。経済安全保障やサイバー安全保障など、安全保障の裾野が更に広がる中、総務省所管の情報通信が担う役割と責任はより大きくなると思います。そんな総務省の扉をぜひ叩いて頂き、一緒に働けることを楽しみにしています。